

鳴門の
記念館

賀川豊彦の功績紹介

孫が講演、思い出話も

家族写真をスクリーンに映し、思い出を語る督明さん―鳴門市大麻町の記念館



鳴門市大麻町楡の市賀川豊彦記念館で三十日、豊彦が救済活動を始めて百周年を記念し、豊彦の孫・賀川督明さん(五〇)と

山梨県都留市、デザイン会社経営の講演会が開かれた。

督明さんは豊彦の功績とともに支援者の働きも紹介。一番の協力者であ

る妻・ハルについて「家族の食事よりも先に貧しい人たちのまかないを作っていた」と語った。

スクリーンでは、豊彦夫妻や督明さんの両親ら家族の写真を上映。晩年病に倒れていた豊彦を毎朝督明さんが訪ね、握手やあいさつをしていたという思い出話も披露した。

同市大津町矢倉の主婦丸山久世さん(六〇)は「偉大で遠い存在の人だと思っていたが、家の中での様子も聞けて身近に感じた」と話していた。